

## パナソニック(株)

は説明動画あり。

No.	技術シーズ	技術概要	内容
1	生体判定	ハード+ ソフト認証系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体(生きています)か否(フェイク)かを判定可能。</li> <li>・静止画1枚からスマホ・写真などのフェイク顔か生体顔かをAIが判定する「静止画判定機能」と、ユーザに特定の顔向きや目の動きを指示することにより生体かどうかを判定する「アクション判定機能」の両方に対応。</li> <li>・「可視光カメラ」を利用するため、「スマホカメラ」などのデバイス搭載カメラや、ドライブレコーダーや車載カメラの「WEBカメラ(USBカメラ)」などを利用可能。</li> <li>・「顔認証」や「eKYC(オンライン本人確認)」における、写真ハッキング対策となるセキュリティ技術。</li> <li>・SDK(ソフトウェア・開発キット)提供可能。スマホ版無料アプリ提供可能。紹介URLあり。</li> </ul>
2	虹彩認証	ハード+ ソフト認証系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたの「目」であなたを認証します。</li> <li>・生後約2年間経過後は生涯変化しない。また、一人一人虹彩の模様は異なる。</li> <li>・人間の目の「虹彩」をコード化して個人照合。</li> <li>・一方で、煩雑なセキュリティ→ユーザーに優しい操作が求められる。(キーレス、非接触で認証可。)</li> <li>・銀行ATM、自動車、施設の入退出、アプリの起動などに活用。</li> <li>・SDK(ソフトウェア・開発キット)提供可能。紹介URLあり。</li> </ul>
3	視線検出	ハード+ ソフトセンシング系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとの「視線方向・視点位置(注視点)」を検出できる技術(アイトラッキング等)。</li> <li>・「可視光カメラ」を利用するため、「スマホカメラ」などのデバイス搭載カメラや、ドライブレコーダーや車載カメラの「WEBカメラ(USBカメラ)」などを利用可能。</li> <li>・ドライバーの視線・視野・見え方評価でわき見、見落としを判定し警告。</li> <li>・Web・広告等注視領域判定で広告・店頭の棚表示を評価などマーケティングに活用。</li> <li>・SDK(ソフトウェア・開発キット)提供可能。用途に合ったカメラ仕様情報提供可能。紹介URLあり。</li> </ul>
4	目検出	ハード+ ソフトセンシング系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影された「目の画像」から、正確な「瞳孔・目(瞳)」を検出できる技術。</li> <li>・「可視光カメラ」を利用するため、「スマホカメラ」などのデバイス搭載カメラや、ドライブレコーダーや車載カメラの「WEBカメラ(USBカメラ)」などを利用可能。</li> <li>・「ドライバーセンシング、アイトラッキング、生体検知」などの先端テクノロジーにご活用いただける汎用性の高い要素技術。</li> <li>・WEBカメラでも検出可能な可視光版では、スマホや安価なWEBカメラでも目の位置、虹彩/まぶた/目尻目頭の情報をセンシング可能です。赤外線カメラを用いた赤外線版では、瞳孔のサイズをpxおよび実寸mmの両方で計測可能。</li> <li>・眼科領域などといったヘルスケア分野での活用や、目の動きを用いたソリューションのコアテクノロジーとして活用可能。</li> <li>・SDK(ソフトウェア・開発キット)提供可能。スマホ版無料アプリ提供可能。紹介URLあり。</li> </ul>
5	近赤外生体センシング	ハード+ ソフトセンシング系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体検知や生体情報を利用したアプリケーションへ応用可能。</li> <li>・近赤外光を生体に照射して、生体内散乱光を検知し、生体情報((脈拍、血流量等)を取得することが可能。</li> <li>・顔認証、体動センシング、非接触脈拍センシング、見守りシステムなどへの活用可能。</li> <li>・試作版SDK情報提供可能。</li> </ul>
6	音声感情認識	ソフト系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の感情を音声だけで推測する技術。</li> <li>・会話などの音声から、「喜び」「怒り」「平静」の3種類の感情判定結果を得られる技術。</li> <li>・音韻単位の認識であるため言語の種類、話し方、方言に影響されない。</li> <li>・話者の音韻単位で観測される「裏声」「カんだ声」などの特定の音響から特徴的な音色を検出して感情を識別する技術。</li> <li>・コールセンター、対話ロボット、車運転補助サービスなどインターフェースを持つ対話システムで活用。</li> <li>・SDK(ソフトウェア・開発キット)提供可能。紹介URLあり。</li> </ul>

## パナソニック(株)



は説明動画あり。

No.	技術シーズ	技術概要	内容
7	行先案内	ソフト系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面情報には不要なものが多いため、目的/状況に応じて適切な情報のみ提供する技術。</li> <li>現在位置を中心として移動方向や速度、時間に合わせて特定のワードに対応するレコメンド結果を表示する。</li> <li>スマホとカーナビが連動したアプリでは、移動手段に応じてコンテンツ表示領域を変更。(新幹線と山手線乗車時の駅周辺情報の表示が異なる)</li> <li>SDK(ソフトウェア・開発キット)提供可能。</li> </ul>
8	水中プラズマ技術	ハード系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤フリーで安全、高い殺菌力を持つ改良水であなたの食や暮らしを守ります。</li> <li>バブルとプラズマの力でイオン種を浸透拡散させて高い酸化力を持った改良水を生成。</li> <li>汚れや油・臭い・微生物や細菌を分解・殺菌する。</li> <li>用途は、比較的小規模な洗浄・除菌など。</li> <li>試作機あり(貸与可能)。サンプル動画あり。</li> </ul>
9	ストレッチャブルLED	ハード系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>渦巻き形状の配線により、形状自由度と堅牢性を有している。</li> <li>配線層は金属箔であり、伸縮時においても低抵抗と安定性を維持。</li> <li>自由局面形状への配置が可能である。</li> <li>高い屈曲性と生体への親和性があるためウェアラブルデバイスへ適用可能。</li> <li>試作機あり(貸与可能)。</li> </ul>
10	魚鮮度推定	ソフト+ハード系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚眼の虹彩部の輝度の経時変化による鮮度測定。</li> <li>測定対象(魚)の加工不要であり、短時間で測定可能。</li> <li>魚の死後経過時間の推定や、魚の保存環境の推定、水揚げ後の保存状態(冷凍完了までの時間等)なども推定可能。</li> <li>店舗のフードロス対策にも適用可能。鮮度に合わせた調理方法の提案など。</li> </ul>
11	植物病原菌技術	ソフト+ハード系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>空気中の植物病原菌を検出する技術。</li> <li>細胞壁に穴を開けて侵入する植物病原菌の特性に着目した検出技術。</li> <li>トマトやトウモロコシの菌などを検出可能。</li> <li>検出キットパーツあり(貸与可能)。</li> </ul>
12	発光シート	ハード系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>透明保護膜面における全反射を制御、光取り出し効率を10%以上大幅アップ。</li> <li>有機EL素子の光取り出し効率をアップ可能。</li> <li>有機ELディスプレイなどに活用可能であり、パネルの発光効率を上げることによる低消費電力化、また外からの光の反射を防止することで映り込み防止ができる。</li> </ul>
13	生体ガスセンシング	ソフト+ハード系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫による匂いセンシングの原理を工学実用化。</li> <li>ホルモン、ストレスセンシングへの応用により人体の保健衛生管理レベルを向上し、からだの代謝変化を生体ガスをセンシングして検出また、人間のストレス状態などを生体ガスから判定。</li> <li>FAIMSセンサ技術により、小型&amp;低消費電力で上記アプリケーションを実現。</li> <li>例えば、妊婦のこころとからだの見守りサービスなどに適用可能。</li> </ul>
14			
15	抗菌・抗ウイルス技術	材料系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>可視光応答型光触媒/亜酸化銅のハイブリッド型の抗菌・抗ウイルス材料で、暗所・明所いずれの環境でも効果を発揮し、わずか1時間で99.9%以上のウイルスを抑制。</li> <li>ドライな環境下で実施された実証実験において、1年間に亘って有効性を確認</li> <li>塗料、シートなどに使用可能。</li> </ul>
16	光ID(可視光通信)技術	ソフト系技術/ハード系技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>可視光通信を用いて、ネットワーク通信機能が安定しない屋内、地下、山間部などでも、必要な情報・サービスをお客様にご提供することができる技術。</li> <li>受信用のSDKなどを用いて可視光通信(光ID)をスマホなどで受信出来る状態にしている。光IDを受信できる端末の保有者・利用者であるユーザーに対して様々なサービス(道先案内、情報提供、入退出管理、利用履歴記録等)を提供することができる。</li> </ul>